



絵本のまち板橋

株式会社清美堂

代表取締役社長 秋田 秀明

板橋区三園2丁目14-11



弊社は、中ミシン上製本の製本を社内一貫体制で行う製本会社です。

昭和33年の創業以来、世代を超えて読み継がれるロングセラー絵本を数多く製本してまいりました。

私が27歳の時、両親から会社の再建を頼まれ、空調業界のエンジニアを辞めて清美堂に入社しました。製本については未経験でしたが、製本の

機械に不具合があったときに、エンジニア時代の経験を生かして修理できたことにやりがいを感じ、「自分の力でこの会社を変革できるのではないか」という期待感が生まれました。



当時は文京区大塚の自宅兼工場にて営業していましたが、本の中身は社内で作り、協力会社で加工した表紙を仕入れて製本し、その後に近くの作業場に運搬して検品作業をするという分業制で、移動だけでも大変な時間とコストがかかるのが悩みでした。そこで、競合他社との差別化を図り、お客様に安定供給できる社内一貫生産体制を整えていこうと、両親と話し合いを重ね、表紙貼機の導入と工場移転を決意しました。

移転先には、埼玉県内も候補にありましたが、機械の効率よい配置、従業員の通勤、物流の利便性などを考え、何十件も見た中から現在の板橋区三園の工場に決めました。移転して20年近く経ちますが、板橋区は小規模事業者にも手厚く、助成金なども色々サポートしていただけるので、この地に来て本当に良かったと実感しています。

工場移転を機に両親からバトンを引き継ぎ、三代目として奮闘する毎日です。初代社長の祖父は私が二十歳の時に亡くなったので、一緒に働くことは叶いませんでしたが、祖父が作り、両親が育ててきたこの会社を絶やしたくないという思いが根底にあります。

製本業界は依然として厳しい状況ですが、そんな中だからこそ新しいことに挑戦しようと、今年の春に文具雑貨ブランド「ju:tale (ジュテール)」を立ち上げました。最初の商品「Airy note (エアリーノート)」は、重厚感がある見た目に反し、重さはたったの80g。スタッフがミーティングや試作を重ね、超軽量化を実現しました。6月に初めてクラウドファンディングに挑戦し、多くの方からご支援をいただいたときはとても嬉しかったですね。

弊社ではありがたいことに20代の若手や女性の従業員が増えています。彼ら彼女らのフレッシュな感性と、既存のスタッフが培ってきた製本技術が融合し、新しい商品が生まれる。私には清美堂の明るい未来が見えています。